

# 素養xスキル可視化のご提案

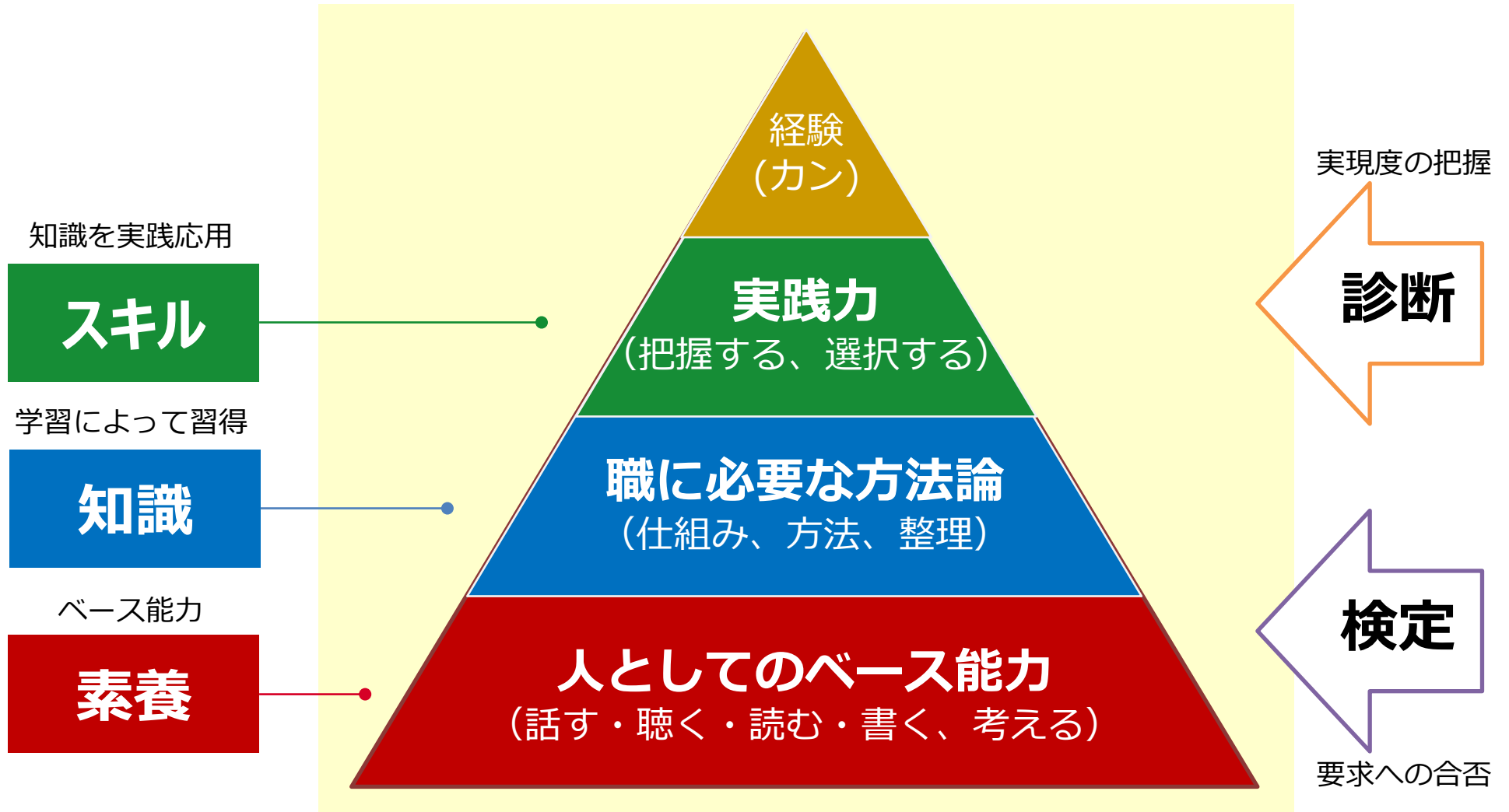
 ヒンシツ大学

その常識、変えてみせる。

**SHIFT**

# 素養検定とスキルテストの ご紹介

# 素養・知識・スキルと、実務実行力の関係



## ① 効果的な教育

スキルをみて、部署別、レイヤ別教育計画立案

## ② 人材抜擢

素養をもった人材を発掘抜擢し、やらせてみる

## ③ 新技術転換

素養をみて、新技術領域へ配置転換を実施

## ④ 炎上防止

営業力、PM力を測定し、炎上人材を事前検知

## ⑤ 採用力強化

素養を入社前に測定し、入社後ギャップ防止

# 素養／スキル テスト一覧

No	検定試験	種別	時間	合格率	主な指標
1	テスト技術者検定－実行素養編	素養	60	6	正確性、スピード、タイピング、伝達能力、テスト適正
2	テスト技術者検定－設計素養編	素養	60	20	仕様把握力、パターン構築力、組合せ数算出力、整理力、条件検出力、機能分解力
3	PM検定－素養編	素養	60	20	コミュニケーション素養、タスク設定・管理素養、リスク管理素養
4	データエンジニア素養検定	素養	60	20	Excel、データ分析力、コミュニケーション
5	Excelスキル検定【初級】	スキル	30	40	
6	Excelスキル検定【中級】	スキル	30	20	操作力、作表力、数式計算力、ピボット計算力、グラフ表現力
7	Excelスキル検定【上級】	スキル	30	20	自動化力、データ分析力
8	プレゼンテーションスキル検定【中級】	スキル	30	40	要約力、表現方法選択力、操作能力、完成力、発表力
9	プレゼンテーションスキル検定【上級】	スキル	30	20	ストーリーカ、レビューカ
10	営業スキル診断	スキル	30	70	ストーリーカ、ブーストカ、リサーチカ、マネジメントカ、姿勢、コミュニケーション(反応)、知識、計算力
11	品質基礎スキル診断 (日本語版/英語版)	スキル	60	40	品質基礎、テスト設計、インスペクション、不具合分析、テスト計画、非機能テスト
12	P M検定－知識編	知識	40	70	PMBOKのフレームに沿って、ソフトウェアテストを推進するPMに必要な知識を問う
13	P M検定－実践スキル編【初級】	スキル	40	70	ソフトウェアテストの進捗状況に応じた基本的な対応力を問う
14	P M検定－実践スキル編【中級】	スキル	90	30	ソフトウェアテストの進捗状況に応じた対応力、ステークホルダーとの調整力を問う
15	SAP/アジャイル/ロジカルシンキング	スキル	－	－	(制作中 2022年リリース)

# 【テスト技術者検定】 1.実行素養編/2.設計素養編

テスト技術者検定には、「実行素養編」と「設計素養編」の2種類があります。テストを行うためのベース能力を備えているかどうかを確認します。

## 「テスト業務に必要な能力を備えているか」を測定

### 問題例 テスト設計者向け

あるWebサイトにおける会員の登録情報を検索する機能をテストすることになりました。検索窓は以下の通りです。

性別 :  男性  女性  
 年代 :  10代  20代  30代  40代  
 ゴルフ経験 :  なし  ほほなし  あり  
 登録月 : 未選択 ~ 2008年1月

検索

問1-1 検索条件のパターンは何通りありますか？

解答例 4096通り

評価ポイント
組合せ数検討力
複数条件時 問題解決能力
問題説明力
コミュニケーション力
ケース作成力
テスト設計資質

合格ライン  
75点以上/100点満点

合格率  
非公開



### 問題例 テスト実行者向け

「ドリマガ」という投資ゲームが新規オープンします。不具合があるかどうかを与えられたテストケースに従って確認してください。結果がNGの場合は以下のフォーマットを利用して報告してください。

手順	確認項目	結果
1**	投資した日時の	OK
2**	「履歴」が正しい	
3**	こと	
1**	投資した企業の	NG
2**	「ドリーム」が	
3**	正しいこと	

フォーマット

- 現象
- 期待される動作
- 手順

評価ポイント

正確性  
スピード  
伝達能力  
テスト適性  
タイピング

合格ライン  
総合4.0以上/5.0点満点

合格率  
6.0%



# 【テスト技術者検定】実行素養編レポート例



- CAT検定の評価軸は、**正確性、スピード、タイピング、伝達能力、テスト適正**の5つの評価ポイントで個別に評価を行っております。
- さらに、SHIFT社独自の評価基準に基づき、各評価ポイントに重み付けを行い**総合評価**を判定しております。
- SHIFT社では、4.0点以上(5.0点満点)を人材採用の必須要件としており、別途行う面接評価と合わせて採用を最終決定しております。
- 11年間の運用により、既に約53,000名以上の方が受検済みで、弊社の採用合格率は実績 6.0%です。
- 採用後、実務評価をCAT検定にフィードバックして、常に総合評価と採用基準の最適化を行っております。

順位	ニックネーム	部署	年齢	性別	正確性	テストスピード	タイピング	伝達能力	テスト適正	総合評価
1	おぼ	東京都	27	男	5	5	5	5	5	5.0
2	◆RoseFire	神奈川県	26	女	5	5	5	5	4	4.9
2	ばぶ	広島県	34	男	5	5	5	5	4	4.9
2	case955	北海道	35	男	5	5	3	5	5	4.9
2	アオレン	東京都	27	女	5	5	5	5	4	4.9
6	ikariku	北海道	45	男	5	5	3	5	4	4.8
6	mimura028	北海道	29	男	5	5	5	5	3	4.8
8	785	東京都	40	男	5	4	4	5	4	4.7
8	kawell1	東京都	27	男	5	5	4	4	5	4.7
8	マシクボール	広島県	34	男	5	4	5	5	4	4.7
8	コウジ2011	東京都	28	男	5	4	5	5	4	4.7
8	oww	東京都	37	女	5	5	5	4	5	4.7
8	Lrain	千葉県	36	男	5	4	4	5	4	4.7
8	nam00	東京都	24	女	5	5	5	4	5	4.7
15	世いのん	北海道	34	女	5	5	5	4	4	4.6
15	yuyu	神奈川県	42	男	5	5	5	4	4	4.6
15	todochann	東京都	29	男	5	5	5	4	4	4.6
15	sess	千葉県	28	男	5	4	5	5	3	4.6

# 【10.営業スキル診断】結果レポートサンプル

## 【テスト概要】

営業に必要な実践力を測定し、  
一人一人の営業能力を可視化（強み弱みの可視化）

- ・ストーリー力
- ・ブースト力
- ・リサーチ力
- ・マネジメント力（商談マネジメント力）

## 【個人レポート】

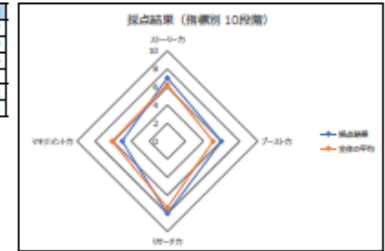
受験者個人のスキルを可視化します。

◇ 得点結果（指標別10段階）

指標	得点結果	全体の平均	全体の偏差
ストーリー力	7	6.3	0.7
ブースト力	6	5.1	0.9
リサーチ力	8	7.4	0.6
マネジメント力	5	6.1	-1.1
合計	26	24.9	1.2
4指標の平均	6.5	6.2	0.3

<指標別10段階レベル説明>

レベル	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
10	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
9	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
8	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
7	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
6	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
5	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
4	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
3	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
2	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
1	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1



◇ 指標別の得点範囲

レベル	得点範囲	得点範囲	得点範囲	得点範囲	得点範囲	得点範囲
10	21~25	9~10	9~10	21~25	17~20	9~10
9	16~20	7~8	7~8	16~20	13~16	7~8
8	6~15	3~6	3~6	6~15	5~12	3~6
7	1~5	1~2	1~2	1~5	1~4	1~2

指標別の得点結果については、このレポートに載せているほか、レポートで詳しく載せています。  
各レベルの得点範囲については、各レベルの指標別の得点範囲を参考にしてください。

### ■ 営業タイプから見た強みと弱みの特徴

#### バランス(リサーチ)型

【強み】 本職の強みは「リサーチ」です。その中で特に「リサーチ」に強みがあります。  
【弱み】 「リサーチ」以外の強みは、ストーリー力、ブースト力、マネジメント力の強みをバランスよく発揮する。  
【リサーチ力】の強みである。お客様の真の課題とその解決策の発見を重視するために、  
幅広く見直し、必要な情報を集める力が強いです。

### <参考> 指標別の説明

指標	説明
ストーリー力	以下の要素にて、ストーリーを組み立てることが出来る力。 お客様の課題・業務上の課題を解決し、価値を創出していくためのビジネスプランを組み合わせる力 お客様の課題・業務上の課題を解決し、価値を創出していくためのビジネスプランを組み合わせる力 お客様の課題・業務上の課題を解決し、価値を創出していくためのビジネスプランを組み合わせる力
ブースト力	お客様の真の課題、決意を喚起する力。 例えば、顧客の真の課題を解決し、価値を創出していくためのビジネスプランを組み合わせる力 顧客の真の課題、決意を喚起する力。例えば、顧客の真の課題を解決し、価値を創出していくためのビジネスプランを組み合わせる力
リサーチ力	お客様の真の課題、その解決策の発見を重視するために必要な情報を収集する力。 顧客の真の課題、その解決策の発見を重視するために必要な情報を収集する力。例えば、顧客の真の課題を解決し、価値を創出していくためのビジネスプランを組み合わせる力 顧客の真の課題、その解決策の発見を重視するために必要な情報を収集する力。例えば、顧客の真の課題を解決し、価値を創出していくためのビジネスプランを組み合わせる力
マネジメント力 (商談でマネジメント)	一般的な商談でマネジメント力ではなく、商談全体のマネジメント、商談を支配する力。 例えば、NextActionについてお客様に商談を行い、ゴールに向けた計画と実行を促す力。

## 【結果一覧レポートサンプル】

受験者の営業タイプ、強み/弱みを一覧で可視化します。  
部署や職位など、ご希望の属性別の傾向を把握できます。

受験ID	氏名	営業タイプ	指標別10段階					計	部門	職位	経験年数	役職
			ストーリー力	ブースト力	リサーチ力	マネジメント力	計					
1	〇〇〇〇	バランス(リサーチ)型	6	5	8	6	25	〇〇部門	職位4	1年未満	課長	
2	〇〇〇〇	バランス(マネジメント)型	9	8	8	10	35	〇〇部門	職位2	5年以上	部長	
3	〇〇〇〇	バランス(ストーリー)型	6	3	5	5	19	〇〇部門	職位2	1年未満	担当	
4	〇〇〇〇	バランス(ストーリー)型	7	6	8	5	26	▲▲部門	職位4	5年未満	課長	
5	〇〇〇〇	バランス(ストーリー)型	9	6	8	7	30	▲▲部門	職位3	5年以上	課長	
6	〇〇〇〇	リサーチ型	5	3	6	6	20	▲▲部門	職位4	5年未満	担当	
7	〇〇〇〇	マネジメント型	7	7	7	8	10	▲▲部門	職位2	5年未満	担当	
8	〇〇〇〇	マネジメント型	5	5	6	7	23	□□部門	職位2	5年以上	課長	
9	〇〇〇〇	バランス(リサーチ)型	7	6	8	5	26	▲▲部門	職位4	5年未満	課長	
10	〇〇〇〇	バランス(ストーリー)型	9	6	8	7	30	▲▲部門	職位3	5年以上	課長	
11	〇〇〇〇	リサーチ型	5	3	6	6	20	▲▲部門	職位4	5年未満	担当	
12	〇〇〇〇	マネジメント型	7	7	8	10	32	▲▲部門	職位2	5年未満	担当	
13	〇〇〇〇	リサーチ型	6	3	8	8	25	□□部門	職位2	5年以上	課長	
14	〇〇〇〇	バランス(マネジメント)型	5	5	6	7	23	□□部門	職位2	5年以上	課長	
15	〇〇〇〇	バランス(リサーチ)型	7	5	8	6	26	□□部門	職位3	5年以上	部長	



# 【10. 営業スキル診断】 問題の一部

※受験対象者に極秘

## リサーチ力（仮説構築力）

リサーチ力 (仮説構築力)	初回訪問までの事前リサーチ①	<p>初回訪問までの事前リサーチ① 【リサーチ力を問う問題】 【解答目安時間:10分】</p> <p>状況</p> <p>あなたは先方の課題を、仮説として構築することにしました。 仮説として構築するための調査する内容と、調査の意図を解答してください。 なお調査の方法は問わず、新規顧客に問い合わせることも可能です。</p> <p>※補足 A社=〇〇様とし、実際の営業活動を想定して記述してください。</p>
------------------	----------------	---

## ブースト力（きっかけの演出）

ブースト力 (きっかけの演出)	提案	<p>【状況:提案】 【ブースト力を問う問題】 【解答目安時間:10分】</p> <p>状況</p> <p>あなたがもっとも提案しやすいA社のサービスを挙げ、 先方が提案を受け入れたいくなるようなメリットを記載してください。</p> <p>※補足 A社=〇〇様とし、実際の営業活動を想定して記述してください。</p>
--------------------	----	--

## ストーリーカ（ビジネス組立）

ストーリーカ (ビジネス組立)	初回訪問までの事前リサーチ②	<p>初回訪問までの事前リサーチ② 【ストーリーカを問う問題】 【解答目安時間:10分】</p> <p>状況</p> <p>仮説として構築した課題を受けて、 あなたが伝えるべきA社の強みを解答してください。 このとき、A社の強みを伝えることによって 顧客から共感、信頼を得られることを目指すものとします。</p> <p>※補足 A社=〇〇様とし、実際の営業活動を想定して記述してください。</p>
--------------------	----------------	--

## マネジメント力（スケジューリング）

マネジメント力 (スケジューリング)	クロージング	<p>【クロージング】 【マネジメント力を問う問題】 【解答目安時間:10分】</p> <p>(問題4の続き) あなたは提案説明会での提案を終えました。</p> <p>状況</p> <p>クロージングとして、提案を次につなげるためにどのようなスケジューリングを行いますか。</p> <p>※補足 A社=〇〇様とし、実際の営業活動を想定して記述してください。</p>
-----------------------	--------	--

## ストーリーカ（段取り力）

ストーリーカ (段取り力)	ヒアリング	<p>【ヒアリング】 【ストーリーカを問う問題】 【解答目安時間:10分】</p> <p>状況</p> <p>初回のミーティングで説明する項目を順序立てて記載してください。 なお今回のミーティングの目的は、次回提案するための材料を得ることとします。</p> <p>※補足 A社=〇〇様とし、実際の営業活動を想定して記述してください。</p>
------------------	-------	--

## ストーリーカ（シナリオ構成力）

ストーリーカ (シナリオ構成力)	フォローアップ	<p>【フォローアップ】 【ストーリーカを問う問題】 【解答目安時間:10分】</p> <p>(問題5の続き) 受注後、参画中のプロジェクトにおいて工程の遅延が発生し、 お客様から期待とのギャップがあるとクレームをいただきました。</p> <p>お客様にどのような対応をしますか。 以下①～③の観点ごとに、簡易書きまたは簡潔な文章で記載してください。</p> <p>状況</p> <p>※補足 A社=〇〇様とし、実際の営業活動を想定して記述してください。</p>
---------------------	---------	---

# 【11.品質基礎スキル診断】～概略～

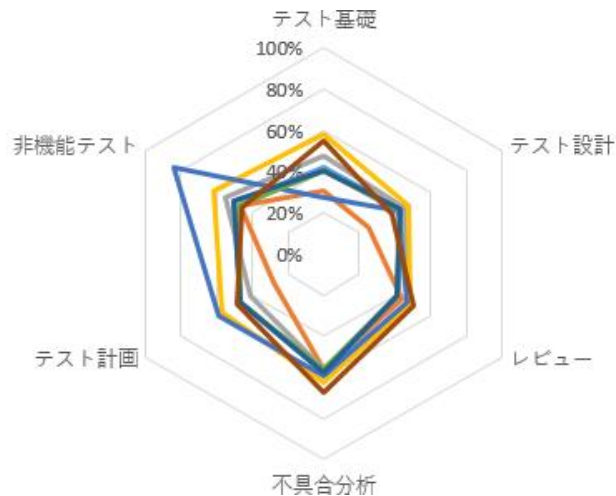
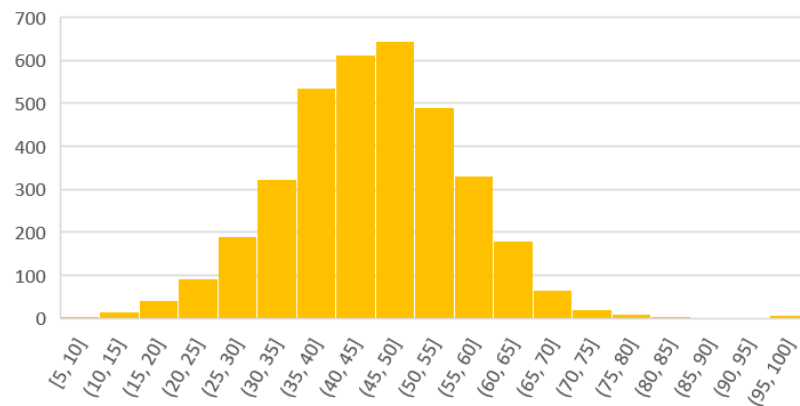
**【テスト概要】品質基礎スキルを、次の6つのカテゴリに分けてそれぞれを選択テストで測定**

- 1.品質スキル
- 2.テスト設計スキル
- 3.レビュースキル
- 4.不具合分析スキル
- 5.テスト計画スキル
- 6.非機能テストスキル

**【組織・階層などの切り口で分析】**  
組織・階層などに対応して、各知識スキルカテゴリの平均得点を比較。分類別の特性を見て、教育方針を検討することができます。

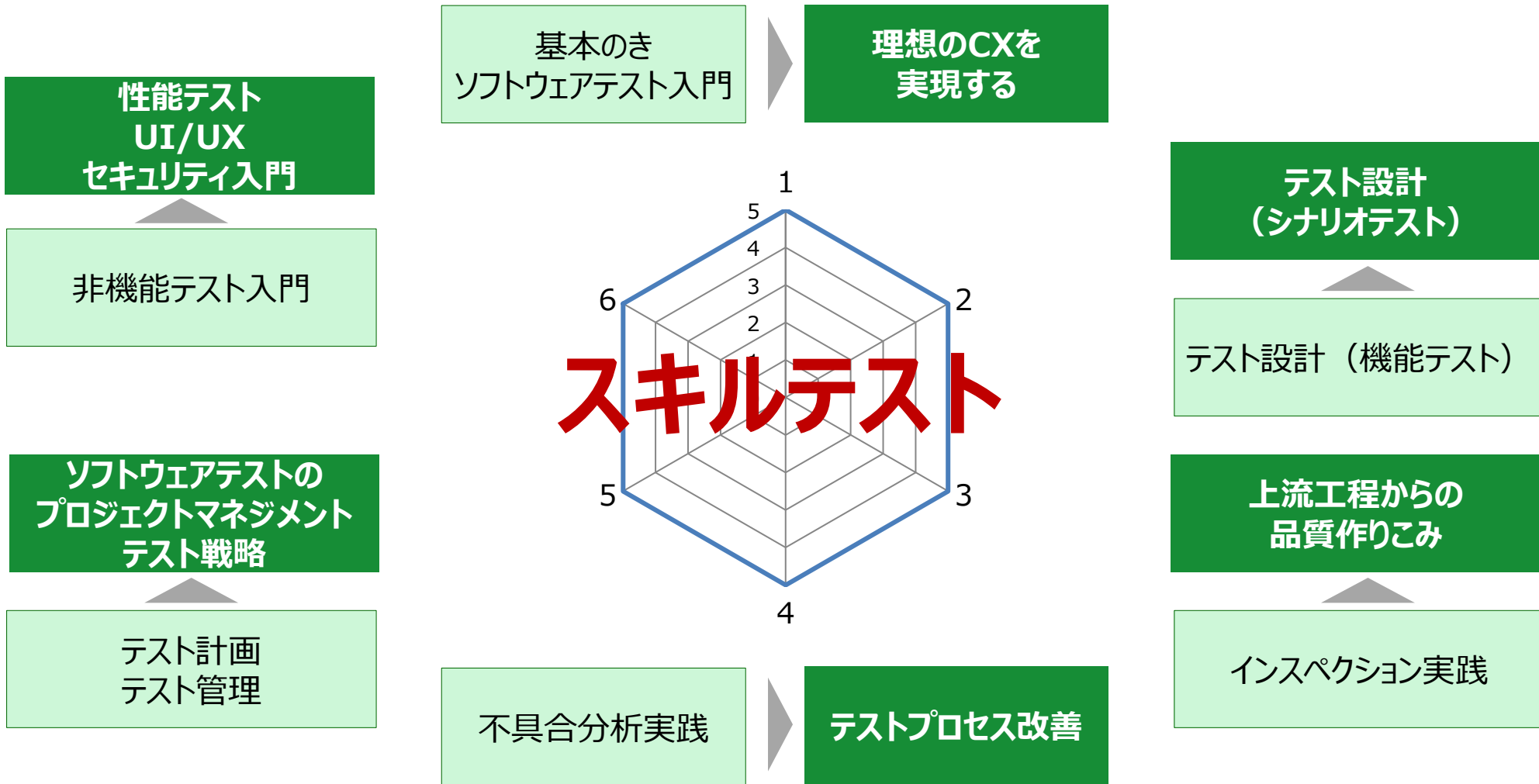
**【得点分布で分析】**

個人別の平均点分布を見ると、高得点者がいる一方で35～50点の範囲に集中していて、この層の底上げや、上位層のさらなるスキルアップを検討する材料となります。



合計	テスト基礎	テスト設計	レビュー	不具合分析	テスト計画	非機能テスト
46.8%	41.8%	42.8%	42.3%	57.9%	46.6%	50.6%
38.0%	30.6%	25.0%	43.8%	56.3%	28.1%	46.9%
48.9%	47.9%	44.4%	48.8%	56.3%	41.4%	55.1%
55.5%	57.8%	47.2%	48.1%	62.5%	56.9%	61.3%
52.5%	27.8%	41.7%	46.9%	59.4%	59.4%	84.4%
45.5%	40.4%	42.6%	41.0%	56.3%	46.8%	47.3%
46.4%	40.2%	42.9%	41.2%	57.7%	46.5%	50.8%
50.6%	54.8%	38.5%	50.0%	67.0%	48.7%	45.5%

# カテゴリを選択して強化することが可能



## テスト基礎

No.	点	問題	選択肢
1	1	システムの品質が高いと判断する基準として、最も望ましいものを選び。	①欠陥（バグ）が少ない ②性能が高い ③利用者にとっての価値が高い ④コストが安い
2	3	ソフトウェアのテストを行う目的として、正しいものを全て選び。	<input type="checkbox"/> 予定された機能が全て提供されていることを確認する <input checked="" type="checkbox"/> テスト対象の欠陥を全て見つけ出す <input checked="" type="checkbox"/> テスト対象が利用された時に発生しうるリスク

## 不具合分析

No.	点	問題	選択肢
1	1	欠陥（フォールト、バグ）に関する記述として、誤っているものを選び。	①人間が開発中に起こしたエラーが、作業成果物に残存したものが、欠陥となる。 ②システムの実行中において、欠陥と関連して、利用者が不都合と判断したものが故障（障害）である。 ③システムの中に欠陥があっても、故障として表出しない場合もある。 ④どんな欠陥も、動的テストを行うことで検出することができる。
2	1	不具合分析に関する記述として、誤っているものを選び。	①開発中のエラーが繰り返し発生して、別の場所に類似の欠陥を作らないかを確認する。 ②ソースコードの欠陥の元となったドキュメントの欠陥が、他のソースコードの欠陥を招いていないかを確認する。 ③欠陥をたまたま作ったのは誰かを特定し、その人の作ったところを見直す。 ④欠陥がテストで見つからなかった理由を確認し、テストの方法を見直す。

## テスト設計

No.	点	問題	選択肢
1	1	統合テスト工程では、画面仕様書などの基本（外部）設計書に対応して、機能テストを行う。このうち画面関連のテストに関する記述として、正しいものを選び。	①コンポーネントテストが完了しているので、画面遷移だけ確認すればよい。 ②画面のレイアウトが崩れていても、機能が正しく動作していれば、バグレポートは作成しない。 ③画面の項目を分析し、体系的に欠陥を見つけて出すことが求められる。 ④Webシステムであれば、いろいろな種類のブラウザを使用して、問題がないことを確認する。
2	1	テスト設計を行うためには、前提条件をテスト計画書から取得する必要がある。テスト計画書から取得するものとして、誤っているものを選び。	①テストの対象となる機能・対象外の機能 ②テストタイプ（テスト方法）の選択に関する指針 ③テスト密度の指針 ④合否判定基準

## テスト計画

No.	点	問題	選択肢
1	1	テスト計画書に関する記述として、誤っているものを選び。	①テストのスケジュールと、人員計画を明示する。 ②どのようなタイプのテストを実施するかを明示する。 ③テストチームの責任範囲をステークホルダーと合意するために利用する。 ④テストケースを全部実行したら終了なので、終了基準は書かなくてもよい。
2	1	テスト計画書に記述するテスト方針に関する記述として、誤っているものを選び。	①プロジェクトの種類や状況によって、求められるQCD（品質・コスト・納期）バランスは異なる。 ②QCDバランスは、ステークホルダーが決めるもので、テスト計画書に要求されるQCDの理由を記述する必要はない。 ③QCDバランスを実現するために、どのようなテストを行うかを計画する。 ④コストや納期の制約が強いほど、目標とする品質を落とすともよい。

## レビュー

No.	点	問題	選択肢
1	1	レビューの典型的なタイプに関する記述として、誤っているものを選び。	①非形式的レビューは、プロセスに問わず日常的に随時実施されるレビューで、コストをかけずにレビューの効果を得ることを目的とする。 ②ウォークスルーは、成果物としてのレビュー報告書を作成するために、グループで成果物をチェックして欠陥を探す。 ③テクニカルレビューは、技術のエキスパートが参加し、技術的な課題について議論・決定・欠陥発見などを行う。 ④インスペクションは、経験のあるモデレーターが進行し、それぞれの役割を持った参加者が、ルールに則ったプロセスでレビューを行う。
2	1	インスペクションに関する記述として、誤っているものを選び。	①準備からミーティングの招集、ミーティングの進行までをモデレーターが統括し、レビュー結果の反映は開発担当者になる。 ②レビューアに対象成果物とレビュー観点を事前配布し、それぞれの観点に従ってレビューを徹底した状態でミーティングに呼ぶ。 ③必ずレビューミーティングの議事録を作成する。 ④対象成果物およびインスペクション活動の品質メトリクスを採取して、プロジェクトサイクルに跨る改善状況を評価する。

## 非機能テスト

No.	点	問題	選択肢
1	1	スマートフォンに関する記述として、非機能として扱わないものを選び。	①通話品質が聞き取りやすい。 ②電波の感度がよい。 ③GPSで自分の位置がわかる。 ④電池の持ちがよい。
2	1	ISO25010の品質特性に関する記述として、誤っているものを選び。	①ISO25010では、システムの品質が利用時品質と製品品質とにモデル化され、補充モデルとしてISO25012のデータ品質が示されている。 ②製品の品質特性として、機能適合性、性能効率性、互換性、使用性、信頼性、セキュリティ、保守性、移植性の8つが提示されている。 ③機能適合性以外の7つの特性は、非機能を表す特性として考えることができる。 ④製品品質モデルは、製品として提供されるソフトウェア、ハードウェアを対象としており、サービスとして提供されるクラウドやネットワークの利用は対象外である。

# 【11.品質基礎スキル診断】レポートサンプル

## 各種レポートから気づきを得ることが可能

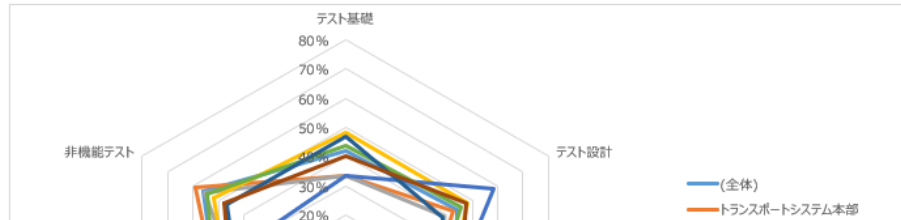
組織



弱い部署の炙り出し

日、29日実施

本部別得点率	合計	テスト基礎	テスト設計	レビュー	不具合分析	テスト計画	非機能テスト
	46.5%	42.0%	44.1%	43.3%	59.8%	47.7%	56.0%
	43.7%	33.3%	42.6%	29.6%	42.6%	46.3%	59.3%
	39.0%	33.3%	38.9%	25.0%	36.1%	36.1%	55.6%
	49.0%	48.1%	48.1%	37.0%	44.4%	42.6%	51.9%
	43.0%	33.3%	58.3%	36.1%	55.6%	33.3%	30.6%
	48.3%	43.5%	45.4%	31.5%	58.3%	49.1%	54.6%
	46.7%	46.9%	38.3%	47.5%	53.1%	39.5%	46.9%
	48.6%	40.0%	47.8%	43.3%	64.4%	43.3%	47.8%



対象層の発見  
上位層が下位層より低い

階層



階層別得点率	合計	テスト基礎	テスト設計	レビュー	不具合分析	テスト計画	非機能テスト
(全体)	42.8%	34.7%	43.7%	38.6%	58.0%	43.2%	39.6%
階層4	44.6%	34.4%	45.8%	43.6%	57.9%	45.4%	41.5%
階層3	46.3%	40.5%	45.0%	42.8%	60.0%	43.4%	47.0%
階層2	44.7%	37.2%	43.7%	38.1%	63.2%	48.5%	38.7%
階層1	37.4%	29.2%	41.0%	31.6%	52.8%	36.9%	33.5%

個人

レビューの知識が不足している

(総評) レベル: 3  
品質に対してもっと高い目的意識を持ちましょう。テスト設計の基本的な考え方を理解しています。レビューも効率よく進められるようにさらに学習してください。不具合分析の基本的な考え方を理解しています。テスト計画の基本的な考え方を理解しています。非機能テストについて、もっと深く学びましょう。

(テーマ毎の判定結果)

テーマ	判定	判定詳細
テスト基礎	3	まずまずの知見である
テスト設計	4	ほとんど知見がある
レビュー	1	ほとんど知見がない
不具合分析	5	十分な知見がある
テスト計画	5	十分な知見がある
非機能テスト	3	まずまずの知見である

(詳細評価)  
品質の考え方が自己完結的になっていて、品質の受け取り手の意識が不足しているようです。各テストフェーズにおいて行うテスト内容は知っていますが、総合的な組み立てとしては不十分です。テストのバリエーションの理解は限定的です。テストを考えるにあたって、テストの条件を分類して備を決める考え方はできています。テスト結果に影響を与える因子を組み合わせて、条件を網羅することの理解ができていません。設計の標準化効率化の知識が不足しています。レビューを効率よく進めるための、レビュータイプや技法を選択する知識が不十分です。インスペクションのような高度に計画されたレビューについては、ほとんど知識がないようです。レビューに参加する心持は不十分です。不具合の構造や、不具合分析を行う目的について、正しく理解できています。不具合分析の効果を高めるための、フェーズや観点の理解



自社のやり方への固執。  
上位過ぎて基礎教育対象外



# 12. PM検定—知識編 ～概要～

## PMスキルを7つのカテゴリに分けて、各々選択テストで測定

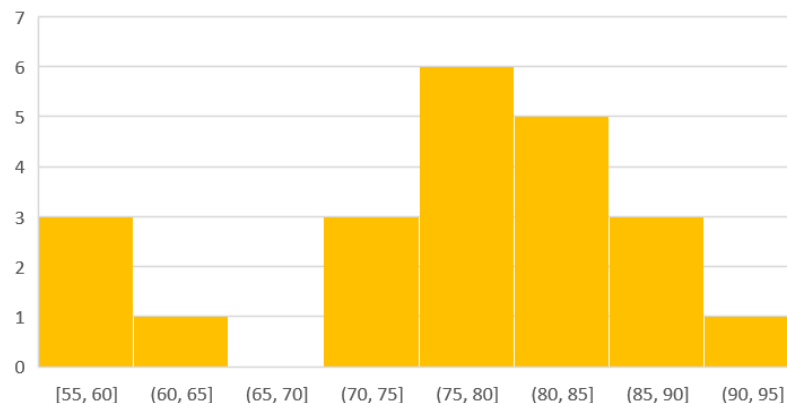
1. 基本知識と立上げ時のポイント
2. 計画策定（目的とスコープ）
3. 計画策定（スケジュール）
4. 計画策定（資源／コスト／品質）
5. 計画策定（リスク／その他管理手順）
6. 実行監視
7. 計画変更／終結時のポイント

### 【組織別・階層別】

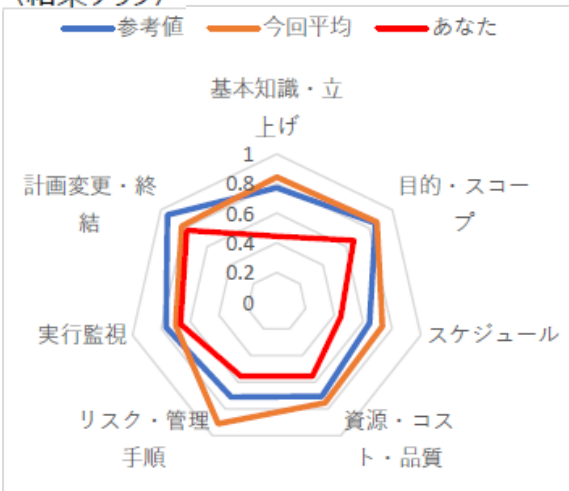
各知識カテゴリの平均得点を比較。  
合格ラインを80点に設定しています。

### 【個人得点】

個人別の平均点分布です。  
あと一息で合格という者も散見され、教育を検討する材料となります。



### 〈結果グラフ〉



### 〈総評〉

プロジェクトは最初が肝心です。立上げ時に押さえておくべきポイントを一から学びましょう。  
マスター・テスト計画書を作成する際のポイントについて学び直しましょう。  
テスト・プロジェクトを推進し終結させるための基礎知識について学び直しましょう。

### 〈詳細評価〉

基本知識・立上げ	プロジェクトの基礎知識をしっかりと学びましょう。 プロジェクト立上げにあたってのポイントをもう少し理解しましょう。
目的・スコープ	目的と体制をプランする趣旨をもう少し理解しましょう。 スコープ定義手法をもう少し理解しましょう。
スケジュール	スケジュール設定に関する基礎知識と手法をしっかりと学びましょう。

### 基本知識と立上げ時のポイント

No.	点	問題	選択肢
1	1	プロジェクトとは、独自性があり且つ有期性を持つ業務がプロジェクトです。では、これに該当しない業務を1つ選びなさい。	① 国立競技場の建設 ② 社内運動会の開催 ③ 小惑星探査機の打ち上げ ④ コンビニのレジ業務
4	3	顧客の発注手続きが遅れている理由で、発注書の到着がプロジェクトの開始に間に合わない可能性があることがわかりました。PMが取るべき行動として適切なものを全て選びなさい。	① 顧客の手続きが遅れているだけなので、要員を遊ばせることは得策ではなく、予定どおり開始することとした。 ② 速やかに上長にエスカレーションし、プロジェクトの開始が遅れるリスクが高いことを報告した。

### 計画策定スキル（目的とスコープ）

No.	点	問題	選択肢
1	2	プロジェクトの背景とは顧客が持つ課題感等であり、目的とはその対応策やプロジェクトチームへの期待になります。これをプロジェクト計画書に記載する理由や姿勢として適切なものを全て選びなさい。	① メンバー全員が同じ方向に向かうようにしていくため。 ② 顧客の期待に応えることで満足いただき、次の案件獲得に繋げるため。 ③ PMのみが認識しておき、他のメンバーには目の前の作業に注力してもらうため伏せておく。 ④ 顧客からは「社内の工数が足りないからお願いした」としか聞いていないので、背景と目的は記載しないこととした。
3	2	テスト対象範囲を明確にしていきます。適切ではないやり方を1つ選びなさい。	① 要件定義書や基本設計書といった開発ドキュメントに記載された業務や機能から対象を洗い出した。

### 計画策定スキル（スケジュール）

No.	点	問題	選択肢
1	1	STEP1として、詳細なスケジュールを作成する上での前提条件を整理します。この前提条件として該当しない項目を1つ選びなさい。	① 準委任契約の場合は仕事の完成が目的ではないので、スケジュール上の前提条件を整理する必要は無い。 ② 必達となるマイルストーン ③ 実行環境の制約（使用時間帯、使用ユーザー数制限等） ④ 要員アサイン上の制約（優先アサインすべき遊休要員や育成対象要員等）
2	1	スケジュール作成のSTEP2です。WBS作成時に分解した最下位レベルの作業「ワークパッケージ」の作業工数と所要期間を見積ります。	① 類推見積り：過去の類似したプロジェクトから類推して見積する方法 ② パラメトリック（係数）見積り：数式を設定しパラメータを入れる手法であり、例えば、対象機能を規模別等に分類し、その規模に応じた

### 計画策定スキル（資源／コスト／品質）

No.	点	問題	選択肢
1	1	資源には人的資源と物的資源があります。まずは、人的資源です。プロジェクト要員をアサインする際に考慮する点を挙げています。誤った記述を1つ選びなさい。	① QCDのバランス ② 作業場所（自社サイトなのか顧客サイトなのか、その場所はどこか） ③ 遊休要員の優先アサイン／育成要員のアサイン（キャリアアップ） ④ 準委任契約であれば成果物責任はないので、要員のスキルは考慮せず、とにかくコストを抑えること
2	1	もう1つの資源、物的資源に関する計画です。例えば、ある顧客の結合テストを自社サイトで実施するような場合、手配しなければならぬ物的資源があります。該当しないものを1つ選びなさい。	① テスト端末（PC、タブレット、スマホ等）の予約／手配 ② テスト管理ツール等必要なソフトウェアの手配 ③ プロジェクトで使用する機器や各種はインフラは全て自前で外部調達する

### 計画策定スキル（リスクとその他管理手順）

No.	点	問題	選択肢
1	1	プロジェクトに潜んでいるリスクを特定するため、以下のよう に洗い出しました。適切ではないものを1つ選びなさい。	① テストを行うにあたり、このプロジェクトの特性（ソフトウェア開発の状況／顧客の体制面／契約内容等）からリスクを洗い出した。 ② WBSに記載した各タスクから、期間／難易度／未経験技術／外部依存度といった観点でリスクを洗い出した。 ③ 過去の類似プロジェクトでの教訓や学びからリスクを洗い出した。 ④ リスクはプロジェクトを進めていくと、消えたり、新たに発生したりするので、プロジェクトの計画段階で洗い出す必要はない。
2	1	リスクを洗い出したところ、十数個に及ぶ様々なリスクが特定されました。これらのリスクに対するアクションとして、適切ではない方を 選びなさい。	① どんなリスクでも、顕在化したらプロジェクトに何らかの影響を及ぼすので、全てのリスクに対して同じような努力をかけてモニタリングし対応していくこととした。 ② 特定したリスクに対して、発生する確率と発生した時の影響度を分析し、重大度を設定することで、濃淡を付けることとした。

### 実行監視スキル

No.	点	問題	選択肢
1	1	まずは、プロジェクトチームメンバーを招集し、キックオフ・ミーティングを開催します。このキックオフ・ミーティングの目的として適切ではないものを1つ 選びなさい。	① 本プロジェクトの目的、ベースライン（スコープ、スケジュール、コスト（チーム体制／稼働予定））を共有すること。 ② 会議体、不具合管理手順、課題管理手順といったプロジェクト運営ルール／手順を周知し徹底すること。 ③ メンバーがプロジェクト開始当初に持つ不安を払拭すること。 ④ メンバーの顔見せのみを行い、メンバーにはササッと各自の作業に取り掛かってもらう。
2	1	プロジェクトが開始されました。案件管理者は、プロジェクトの進捗状況を確認していきま す。その目的として適切ではないものを1つ選びなさい。	① プロジェクトのベースライン（スコープ、スケジュール、コストの基準線）との差異を認識し、発生原因を確認すること。 ② とにかく、スケジュールどおりに行われていることだけに注力する。 ③ 将来、ベースラインとの差異につながるリスクを認識し共有すること。 ④ 認識したベースラインとの差異の改善、リスクへの対応（重要度の分

### 計画変更／終結時のポイント

No.	点	問題	選択肢
1	1	プロジェクトを推進している中、プロジェクトのベースライン（スコープ、スケジュール、コスト）に影響するような要求を受ける場合があります。顧客に依存するリスクが実際に顕在化した際に、当社に対し求められる対応要請などもその例です。このような時の対応として、適切ではないものを1つ選びな さい。	① 顧客から口頭にてテスト対象範囲の追加を打診されたので、文書（メール）で変更要求を出していただくようお願いした。 ② 顧客からメールにて変更要求が届いたので、この内容を課題管理表に登録した上で、この変更要求に対する対応を管理していくこととした。 ③ 顧客からメールにて変更要求が届いたので、この内容を課題管理表に登録した上で、この変更要求に対する対応を管理していくこととした。 ④ プロジェクト・ベースラインについて顧客から変更要求があった場合にはスピードが重要となるので、担当者間で目付口頭ベースで進めていくこととした。
2	1	終了報告書はスコープ（約束した成果物）には入っていませんが、プロジェクトオーナーである顧客の部長に提出し、今後の案件獲得につながることにしました。その時の対応として適切ではないものを1つ選びなさい。	① プロジェクト計画書でまとめた品質メトリクスと不具合分析観点に基づき、発生した不具合を多方面からの視点で分析することとした。 ② 終了報告書はスコープに入っていないので、参考資料として担当者間のやり取りにとどめ、報告会開催等の積極的なアプローチは控えた。 ③ 終了報告書は、当社の価値を示し今後の案件獲得につながるための資料なので、上長のレビューを受けし顧客に提示することとした。 ④ 終了報告書の重要な章「課題点と改善提案」については、顧客（特にプロジェクト・オーナー）との定期会議等で前広に連携しており、

# 12. PM検定—知識編 レポートサンプル

組織

組織として  
強み・弱み  
あぶりだせる

ステージ別得点率	合計	基本知識、立上げ	目的と体制、スコープ	スケジュール	資源・コスト・品質	リスク、その他管理	実行監視	計画変更・終結
(全体)	76.7%	78.9%	85.6%	69.9%	72.1%	82.8%	67.7%	83.2%
S1	61.4%	75.0%	88.9%	50.0%	38.9%	55.6%	52.1%	72.2%
S2	73.9%	88.9%	77.8%	72.2%	52.8%	86.1%	58.3%	86.1%
S3	78.2%	84.1%	89.3%	64.4%	74.4%	86.7%	68.3%	83.3%
S4	81.0%	76.6%	86.0%	84.8%	76.0%	86.0%	74.1%	86.0%
M5/P5	75.0%	73.1%	80.1%	69.6%	76.6%	79.5%	65.4%	83.6%
M6/P6	89.4%	77.8%	100.0%	77.8%	88.9%	100.0%	83.3%	100.0%
上記以外	47.0%	55.6%	77.8%	22.2%	33.3%	44.4%	58.3%	33.3%

個人

個人検定結果

検定日： 2021/8/10

解答時間： 00:37

様 部署名：

〈総評〉 得点： 49

プロジェクト開始にあたり押さえておくべきポイントについて、十分に理解しています。  
マスター・テスト計画書を作成する際のポイントについて学び直しましょう。  
テスト・プロジェクトを推進し終結させるための基礎知識について学び直しましょう。

〈テーマ毎の判定結果〉

テーマ	得点	評価
基本知識・立上げ	9/9	十分な知見がある
目的・スコープ	9/9	十分な知見がある
スケジュール	4/9	全体的な知識の充足が必要
資源・コスト・品質	7/9	最低限の知見はある
リスク・管理手順	7/9	最低限の知見はある
実行監視	4/12	全体的な知識の充足が必要
計画変更・終結	9/9	十分な知見がある

〈結果グラフ〉



〈詳細評価〉

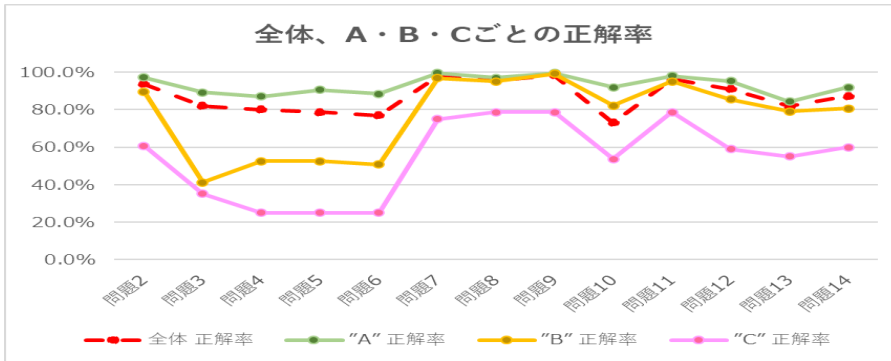
基本知識・立上げ	プロジェクトの基礎知識を理解しています。プロジェクト立上げにあたってのポイントを十分に理解しています。
目的・スコープ	目的と体制をプランする趣旨を理解しています。スコープ定義手法を十分に理解しています。
スケジュール	スケジュール設定に関する基礎知識と手法をしっかりと学びましょう。
資源・コスト・品質	資源計画策定時の基礎知識をもう少し理解しましょう。コスト計画策定時の留意事項を理解しています。品質計画策定時の考慮点を理解しています。
リスク・管理手順	リスクの計画/管理手法をもう少し理解しましょう。各種管理/運営手順の基礎知識を理解していません。
実行監視	プロジェクト実行監視時の基礎知識を理解していません。進捗管理手法をしっかりと学びましょう。
計画変更・終結	変更要求発生時の留意点を理解しています。終結にあたってのポイントを十分に理解しています。

個人ごとにアセスメント  
スケジュール・実行監視

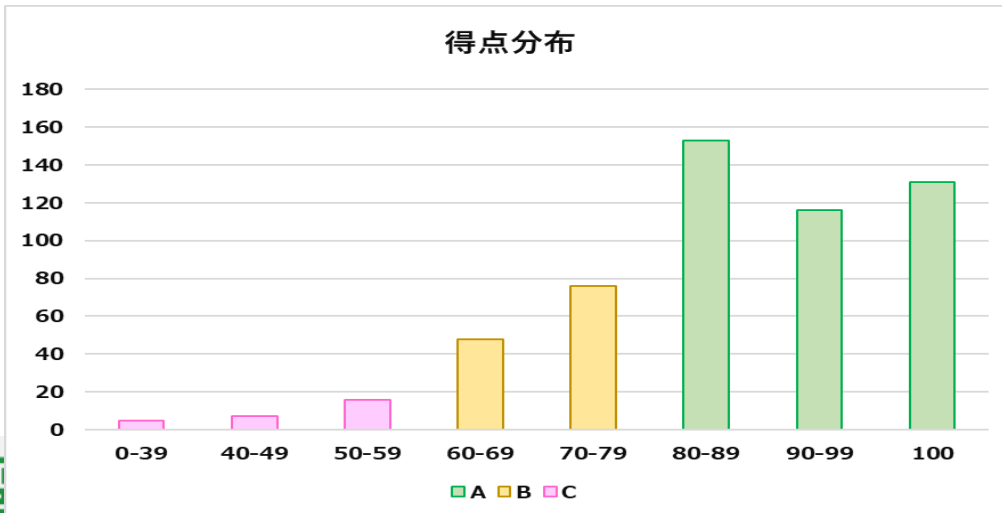


# 13. PM検定—実践スキル編【初級】 ～結果レポートサンプル～

各問題の正解率（評価別）分布です。  
全体の弱みや、評価ごとの強み・弱みがわかります。



個人別の平均点分布です。  
高得点者が多数いる一方で60点以下の得点者も散見され、ばらつきがあることが分かります。



【結果返却レポート】  
受験者個人のスキルを可視化します。

### テストPM検定-初級 結果

社員番号： \_\_\_\_\_  
氏名： \_\_\_\_\_  
判定： **A**

総合 (テスト結果)	80
計画立案力	A
プロジェクト完遂力	B
問題の察知・解決力	B
チームマネジメント力	A

問題(正誤)

問題1	問題6	○	問題11	×
問題2	問題7	○	問題12	○
問題3	問題8	○	問題13	○
問題4	問題9	○	問題14	○
問題5	問題10	○		

※問題1は注意書きのため、採点対象外

PM指標

① 計画立案力	具体的な数値の裏付けがある現実的な見積り出し、リスクと売上・コスト・粗利を考慮しつつ、プロジェクトをゴールに導くための計画を立てられる能力
② プロジェクト完遂力	当事者意識を持ち、関係者に対して適切な対応をしながら、進捗管理を実施し、プロジェクトをゴールまで導く能力
③ 問題の察知・解決力	計画時のリスクを監視しながら、PJの状況に気を配り、問題が小さいうちに対処したり、問題発生時には粘り強く解決できるように対応する能力
④ チームマネジメント力	リーダーシップを発揮し、メンバーの特性（スキル、性格、体調など）に配慮しながら、教育や環境改善などの対応を取り、メンバーのパフォーマンスを発揮させることができる能力

その常識、変えてみせる。 **SMIT**

## 計画立案力

テスト実行スケジュールを立てるにあたり、テスト実施と再テストにかかる時間を算出します。  
以下の条件に従うと、再テスト実施にかかる時間は何時間になるでしょうか？  
空欄【A】に当てはまる数値を解答してください。  
※解答欄には半角数字(整数)のみで解答してください。  
例) 1時間 → 1 ※半角数字の 1 のみを解答欄に記入する

テスト設計フェーズに入って4日目が終わりました。  
当初計画と現状を比べると、以下の表で示す通り、当初計画から遅れています。

現状をもとに再度スケジュールを引き直すと、テスト設計の終了見込みは何日目になるでしょうか？  
稼働日のみを考慮し、半角数字(整数)のみで解答してください。  
例) 5日目に終了見込み → 5 ※半角数字 5 のみを解答欄に記入する

## プロジェクト完遂力

あなたはテスト実行フェーズのスケジュールを作成するにあたって、どのようなことに注意すべきでしょうか。  
注意すべきことを選択肢からすべて選んでください。

あなたは、前任者(PM)の体調不良により、テスト実行フェーズに入ってからこの案件を引き継ぐことになりました。  
現在、テスト実行フェーズに入って1日が経ちました。  
テスト実行者にヒアリングしたところ、障害のチケットには重要度を記載する欄があり、弊社が設定することになってい  
ますが、判断基準が個人の判断に任されているようです。  
対応すべき内容として適切なものを1つ選択してください。

## 問題の察知・解決力

あなたは、あるプロジェクトのテスト工程を担当するPMを務めています。  
6/12朝の定例会議で、進捗をはじめとした状況の確認を行う予定です。  
この会議には顧客とあなたの上長も参加しています。  
下の図はテスト実行中の1週間分の予実を抜粋したものです。  
6/10終了時点、テスト実行のケース数はおおむね計画どおりと考えていますが、不具合検出数が予定を上回って  
いました。



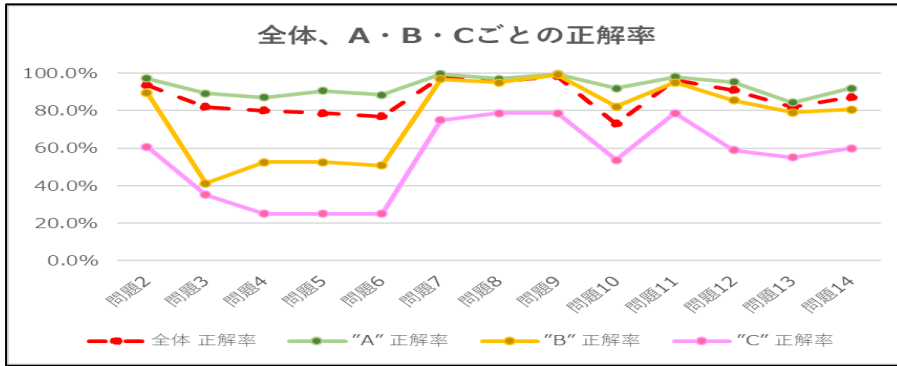
## チームマネジメント力

テスト実行フェーズに入って全体の3割の日程が経過しました。  
進捗は悪く、当初予定から大きく遅延しています。

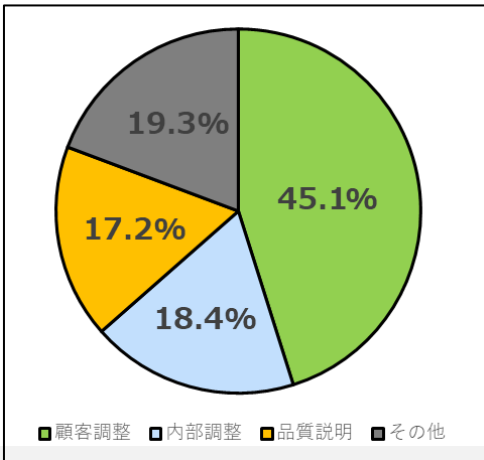
遅延の原因究明と対策検討のため、メンバー個別にヒアリングを進めましたが、これといった原因が分かりません。  
その後も遅延は回復するどころかひどくなっています。  
顧客からも遅延の指摘を受けており、遅延回復策を報告しなければなりません。

# 14. PM検定—実践スキル編【中級】～結果レポートサンプル～

各問題の正解率（評価別）分布です。  
全体の弱みや、評価ごとの強み・弱みがわかります。



問題解決時のアプローチのタイプ割合です。  
貴社PMの問題解決における傾向がわかります。



【結果返却レポート】  
受験者個人のスキルを可視化します。

テストPM検定-中級 結果

社員番号： \_\_\_\_\_  
氏名： \_\_\_\_\_  
総合評価： **B**

進捗管理権	75
計画立案力	B
プロジェクト完遂力	A
問題の察知・解決力	C
調整能力	B
チームマネジメント力	A

問題対応権 78

【進捗管理権】問題(正誤)

問題1		問題5	○	問題9	×
問題2	○	問題6	○	問題10	○
問題3	×	問題7	○	問題11	○
問題4	○	問題8	×	問題12	×

※問題1は注意書きのため、採点対象外

【問題対応権】問題(正誤)

問題3	○	問題5	△	問題7	△	問題9	○
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---

※問題1は注意書きのため、採点対象外 問題4,6,8,10はアンケートのため、採点対象外

以下は、顧客調整の余地がある今回の問題のトラブル発生状況に対して、選んだ進捗権によって分類したあなたの解答タイプです。示しているのは今回の問題に対する例にすぎませんので、状況にあったアプローチができるように引き出しを広げてください。

あなたの解答タイプ	顧客調整
-----------	------

<本問題における解答タイプ>

解答タイプ	タイプごとに基本的におかれた提案方やアプローチ
顧客調整	予算追加交渉の余地があると提案、明示的に追加予算の交渉をする
内部調整	自社に責任があると提案、顧客に影響がないよう対応しきる姿勢を示す
品質説明	状況をフラットに提案、品質の重要性を伝えて顧客の反応から対応を判断する
その他	顧客アプローチと選択した進捗権の一貫性が見受けられなかったもの

### 計画立案力

テスト設計フェーズに入って4日目が終わりました。  
当初の計画と現状は以下の表で示す通りです。

4日目終わり、設計者であるBさん(ベテラン)が体調不良により、  
5日目以降の設計に携わることが難しくなりました。  
そこで、急遽、5日目以降には、  
Cさん(新人)が新たにアサインされることになりました。

### プロジェクト完遂力

以下は、とあるテスト業務における作業タスクの関係と各タスクの作業時間の表です。  
現在、以下の作業タスクを2人の担当者で進めています。  
※ただし、1つのタスクには同時に1人のみ着手可能です。  
8日目終了して進捗に遅れがなく、各タスクは先行タスクが完了直後に着手できている  
状況です。  
9日目の朝に作業全体の進捗率を報告する際、**進捗率は何%**になるでしょうか？

現在、問題が発覚し、顧客PMに対して速報を実施した後です。  
速報した時に、顧客PMから、  
「1時間後にステークホルダーを招集するので、一次報告を実施してほしい」  
と言われました。  
一次報告を行う目的を「PM検定 選択肢リスト」の**選択肢I群の記号**から  
**優先度が高い4つ**を解答してください。

### 問題の察知・解決力

あなたは、あるプロジェクトのテスト工程を担当するPMを務めています。

テスト工程の品質を管理するため、  
「残存テスト項目数」と「抽出バグ数」の予定と実績をプロットし、日々テストの消化状  
況を確認しています。

現時点でのテストの消化状況を確認したところ、以下の図の通りとなりました。  
この図より、現在のテスト状況についてどのような仮説が立てられますか？  
仮説として適切なものを選択してください。

### チームマネジメント力

あなたは、前任者(PM)の体調不良により、テスト実行フェーズに入ってからこの案件を  
引き継ぐことになりました。  
障害管理ツール内にあるチケットを確認したところ、チケットの記載方法が実行者によっ  
てバラバラになっており、障害管理ツールに設けられている「重要度」や「優先度」とい  
った項目も特に利用されていませんでした。  
現状を改善するにあたり、対応すべき内容として適切なものを1つ選択してください。

### 調整能力

対応策会議に向けたデータの調査・分析が完了しました。

## 状況

この状況において、対応策会議にて対応策を提案します。  
提案内容に関する次の3点(①～③)について、  
該当する選択肢群から、あなたの考えに最も近いものをそれぞれ1つ選択してください。

- ①対応策の方針           : 選択肢A群
- ②具体的な実現手段   : 選択肢B群
- ③顧客へのアクション : 選択肢C群

# PM検定横通し評価

12. PM検定-知識編、13. PM検定-実践スキル編【初級】、14. PM検定-実践スキル編【中級】  
これらを合わせて受講することで、横通し評価をし、PMのタイプをより明確にすることができます。

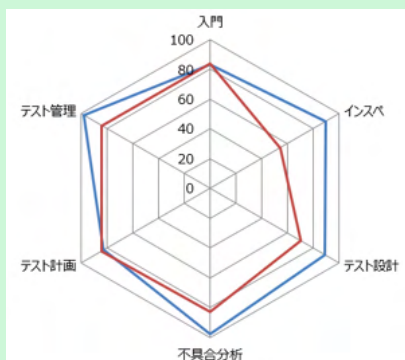
知識診断	正答率 (%)								実践スキル診断			総評	PM横通し評価 受講のお薦め ○:強くお薦めします ◎:お勧めします △:できるだけ受講
	知識診断の内訳 (ポイント数)								初級	中級			
	基本知識の 立上げ 【*/9】	PM計画(目的 /スコープ) 【*/9】	PM計画(タスク /ゴール) 【*/9】	PM計画(資源 /コスト/品質) 【*/9】	PM計画(リスク /その他管理) 【*/9】	PM実行監視 【*/12】	PM計画変更 /閉鎖 【*/9】	進捗管理		問題対応	タイプ		
71	7	8	3	2	8	10	9	72	70	64	顧客調整	・PM知識が十分ではないことから、進捗管理の業務面で支障が ある可能性があります。 ・また、問題発生時のPMとしての考え方や優先度付け判断につ いても、弱い面がうかがえます。	○
82	9	5	7	7	7	10	9	94	96	63	品質判断	・PM知識は保有されており、進捗管理の実践スキルも保有されて います。 ・一方で、問題発生時のPMとしての考え方や優先度付け判断につ いても、弱い面がうかがえます。	△
82	9	6	4	9	9	8	9	100	78	60	品質判断	・PM知識を保有されており、進捗管理の実践スキルも保有されて います。 ・一方で、問題発生時のPMとしての考え方や優先度付け判断につ いても、弱い面がうかがえます。	△
74	9	9	4	5	7	6	9	67	87	75	顧客調整	・PM知識が十分ではないことから、進捗管理の業務面で支障が ある可能性があります。 ・また、問題発生時の対応についても不安があります。	○
55	3	5	6	4	6	7	5	36	38	32	緊急対応	・PM知識が不足していることから、進捗管理を機能させることが できない可能性があります。 ・また、インシデント発生時の緊急対応とスコープキップ時の対応 の性質の違いを理解する必要があります。	◎
71	5	9	4	5	9	8	7	66	57	34	内部調整	・PM知識が十分ではないことから、進捗管理を機能させることが できない可能性があります。 ・また、問題発生時のPMとしての考え方や優先度付け判断につ いても、弱い面がうかがえます。	○
79	7	9	8	6	7	6	9	94	85	36	緊急対応	・進捗管理の実践スキルは保有されています。 ・一方で、インシデント発生時の緊急対応とスコープキップ時の 対応の性質の違いを理解する必要があります。	○
85	8	7	8	6	9	9	9	66	75	36	緊急対応	・PM知識は保有されていますが、進捗管理の実践スキルに不足 があり、進捗管理を機能させることができない可能性があります。 ・また、インシデント発生時の緊急対応とスコープキップ時の対応 の性質の違いを理解する必要があります。	○
67	4	7	7	7	5	8	6	84	80	58	品質判断	・進捗管理の実践スキルは保有されています。 ・一方で、PM知識や問題発生時のPMとしての考え方、優先度 付け判断について、弱い面がうかがえます。	○
64	5	8	4	5	8	5	7	45	47	53	顧客調整	・PM知識が不足していることから、進捗管理を機能させることが できない可能性があります。 ・また、問題発生時のPMとしての考え方や優先度付け判断につ いても、弱い面がうかがえます。	◎
80	7	9	3	7	8	10	9	48	55	83	顧客調整	・PM知識は保有されており、また、問題発生時の対応についても 安心できるレベルです。 ・一方で、進捗管理の実践スキルに不足があり、進捗管理を機能 させることができない可能性があります。	○

## レポート種別をご指定しながら、 個人レポートも提供可能です

費用	分類別レポート*	個人レポート
3,000円/名	●	
5,000円/名	●	●

\*分類別レポート：部署別、レイヤー別、職務キャリア別でレポートを作成

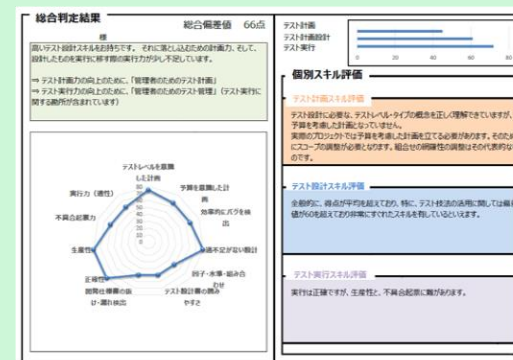
### ■ 個人レポート



個人レポートでは、  
レーダーチャートで、各種平均と個人スキルを比較し、  
足りない箇所の考察をふまえ、  
おススメの教育プランをレポートします。

※個人レポートの作成にはお時間を有します。  
※自動化ツールのレポートのため、日本語の表現を  
※随時ブラッシュアップ中です。

### ※レポート 参考イメージ



# 各種サンプルとよくある質問

# よくあるご質問とその回答（1 / 2）

質問	回答
1. 試験の形式（時間、方法）を教えてください	<p>方法：Web試験 環境：MS Forms (SHIFTが準備) 時間：各検定別に定めた制限時間がある</p> <p>※MS Formsでは、テストの実績時間は測定できますが、制限時間でテストを自動終了させる機能がありません。受験者自身がアラーム設定をして、時間計測していただきます。このため、受験者には、試験前に以下3点を伝え受験してもらいます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・自分でアラームを準備し、制限時間を厳守すること。</li><li>・MS Formsで試験時間は測定されるため、明らかに時間を超過している場合は試験は無効となること。</li></ul> <p>公平性を期すために時間を厳守させる場合、試験監督者をたて、時間計測する方法もあります。受験者にWeb会議(ZOOM/Teams)に入ってもらい、一斉受験させて、試験監督者が時間計測することで実現は可能です。</p>
2. 偏差値は社内だけが対象でしょうか？それとも過去のテストを受験した人が対象になりますか？	<p>今回受講者の偏差値、これまでのテストを受けた同一会社の方全体からの偏差値、それぞれ報告可能です。</p> <p>他社を含む全体の平均点については、配布しませんが、口頭で説明します。</p>



## よくあるご質問とその回答（2 / 2）

質問	回答
3. 他社と比較することはできますか？	テスト実施済の会社様平均（カテゴリ別限定公開）との比較は可能です。 （データとしては提供しません）
4. レポートのサンプル提供いただけないでしょうか	こちらの提案書に添付しております。 こちらは、RPAによるレポートになります。日本語の表現を随時ブラッシュアップ中です。
5. 素養とスキルの違いを教えてください	素養検定は、入社後の業務適応力につながる力を確認するための検定で、未経験者でも受検が可能になっています。 一方、知識・スキルの検定は、実践するための知識レベルの確認と、それを適切に使える実行力を問う内容となります。
6. 発注から受験まで何日位必要でしょうか？	回答：1営業日 準備期間として1日ほどいただきます。スムーズに受験するために、準備段階で、弊社準備するWeb受験が環境的に可能か、テスト監督者を置くのか、各自受験させるかなど運用ルールを決めておく必要はあります。
7. 受験からレポート（部署別、レイヤー別）作成まで何日位必要でしょうか？	回答：2～7営業日 受験者数に比例して、営業日数がかかります。またレポート作成担当は講師が兼任しておりその時の講師の担当講座の状況によります。 レポート内容を貴社向けにカスタマイズする場合、追加の時間を頂戴することになります。標準レポートで200名の場合、3営業日後の報告が可能です。

# ご提案

# 現在のスキルを可視化し、効果的な研修を受講後 再テストにより効果測定が可能になります。

### ゴール設定 準備

スキルテストからの導線（公開講座受講または企業研修）を設計し各人のスキル底上げを計画します。効果測定の指標、目標値を設定することで、より具体的に計画立案が可能です。

### スキル検定 テスト実施

スキルテストを実施していただき、現状のスキルを把握いたします。

### スキル検定 可視化

スキルテストでスクリーニングを行い、部門、レイヤー、キャリアに応じた教育プランをレポート致します。レポートは2種類、品質面での短所と、長所を明確にいたします。

### 教育実施

チケットを購入いただき、各人の短所のカテゴリ講座を受講いただきます。チケットにて、各自お好きな時間に公開講座の受講が可能です、チケットは、企業研修にもご利用いただけます。

### スキル検定 再テスト実施

スキルテストを再実施していただき、研修後のスキルを把握します。

### 研修 効果測定

研修前と研修後のデータを比較し効果を測定します。各人、部門別、全体の伸び率を確認します。

## 貴社社員限定の公開講座

### ご指定の場所もしくはオンラインで社内教育を開催

#### ■レイヤー別の講座組み合わせ例

	入門	概論	非機能	設計 ×2※	計画	戦略	不具合 分析	インスペ クション
PM		◎			○	○	○	○
PL		◎	○	○	○			○
若手	◎	○	○	○				

※2講座（機能テスト、シナリオテスト）の講座  
※◎は平準化のため、推奨講座です。

#### 導入メリット・想定効果

- 品質知識の平準化
- テストの作業標準の制定
- チケット制にすることにより  
キャリアプランに沿った形式で講座を受講  
※年間の開催スケジュールを予め決める

# 講座一覧①

クラス	講座	講座内容	受講料	オンライン
ベーシック	① ソフトウェアテスト、基本の「き」	ゲーム感覚で楽しんで学ぶ品質・テストの基礎	46,200円	○
	② ソフトウェアテスト入門	「テストに関する知識」「品質に関する知識」を習得	46,200円	○
	③ テスト自動化入門	テストオートメーションの基礎	46,200円	—
	④ 非機能テスト入門	注目度急上昇のテスト領域	46,200円	○
エンジニアリング	⑤ テスト設計（機能テスト）	効率的に漏れのないテスト設計手法を習得	46,200円	○
	⑥ テスト設計（シナリオテスト）	業務フロー等を基に網羅的なテスト設計を習得	46,200円	○
	⑦ テスト演習（機能テスト）	仮想プロジェクトで腕試し！スキルレポート付	46,200円	○
	⑧ 仕様書インスペクション	上流品質を高め手戻りを防ぐドキュメントレビュー技法	46,200円	○
	⑨ テスト自動化実践	「Selenide」を用いた実践的なWebテストのハンズオン	46,200円	—
	⑩ DevOpsテスト入門	継続的デリバリーを実現するテストのアプローチ	46,200円	○
	⑪ コンポーネントテスト【Java編】 ★NEW	JUnitを利用した自動テスト	46,200円	—
マネジメント	⑫ テスト計画	成功する為のテスト計画・見積り極意	46,200円	○
	⑬ テスト管理	テスト実行時の管理方法・変更多発のテスト管理にお悩みの方必見	46,200円	○
	⑭ 不具合分析	障害報告や不具合データの分析と対策、今後の改善に活かす方法	46,200円	○
	⑮ テストプロセス改善	評価・改善案策定を一日で習得！「TPI NEXT」を習得	55,000円	○
	⑯ テスト戦略	テスト計画に繋がる具体的な戦略立案の肝	55,000円	○

# 講座一覧②

クラス	講座	講座内容	受講料	オンライン
ベーシック	⑰ VBA 入門編	VBAの基礎、VBA演習プログラム経験ゼロの方から丁寧におしえます。	46,200円	—
	⑱ VBAによるOffice連携RPAプログラミング	VBAによるOffice連携を学びます。 (OutlookVBAの基礎、WordVBAの基礎、AccessVBAの基礎等作成中の要点など)	49,500円	—
	⑲ VBAによるWeb操作RPAプログラミング	VBAによるWeb操作を学びます。(HTMLの基礎、Javascript概要作成中の要点など)	49,500円	—
エンジニアリング	⑳ 性能テスト入門	負荷テストツールApache JMeterを利用した演習を行います。	46,200円	—
	㉑ TDDテスト駆動開発	テスト駆動開発(TDD)の体験とともに、よりよいテストの書き方、よりよいリファクタリングの進め方をお伝えします。	46,200円	—
	㉒ 作るUX・測るUX実践講座	測るUXに加え、作るUXの基本をワークショップで学べるセミナーです。UXのプロから利用者視点活用の実践的な基礎を伝授します。	46,200円	○
	㉓ セキュリティテスト入門	情報セキュリティの運用、評価、テストに関する基礎知識を学びます。	46,200円	—
	㉔ RPA基礎応用 (BizRobo)	RPAの代表的な環境であるBizRobotを使ってRPAの基礎を学びます。	46,200円	—
	㉕ RPA基礎応用 (UiPath!)	RPAの代表的な環境であるUiPathを使ってRPAの基礎を学びます。	46,200円	—
	㉖ 設計品質ワークショップ【基本設計編】★NEW	基本設計のあるべき姿を見つめなおし、設計品質向上につなげるヒントを、自らディスカッションを通して探し出すことを目的とするワークショップです。	46,200円	○
㉗ 設計品質ワークショップ【詳細設計編】★NEW	詳細設計のあるべき姿を見つめなおし、設計品質向上につなげるヒントを、自らディスカッションを通して探し出すことを目的とするワークショップです。	46,200円	○	
マネジメント	㉘ できる技術者の提案テクニック	コンサルタントが使う課題解決の手法である「ロジカルシンキング」を応用した提案テクニックを学びます。	46,200円	○
	㉙ 理想のCXを実現する	CX手法の進め方、及び注意点を説明していくとともに、各種演習を通して知識と理解を深めます。	55,000円	○
	㉚ アジャイルスクラム入門	アジャイル、スクラム開発の基礎を講義、事例、グループワークを織り交ぜながら習得し、疑似開発プロジェクトでスクラムを実践します。	46,200円	○
	㉛ ソフトウェアテストのプロジェクト・マネジメント(2日間) <span style="background-color: red; color: white; padding: 2px;">12PDU取得可能</span>	ソフトウェアテスト業務のプロジェクト・マネジメントをPMBOKのフレーム (知識エリア/プロセス群)に沿って解説します。さらに、各種の演習を揃えており、実践力に磨きをかけることができる講座となっています。	92,600円	○
	㉜ テスト計画・管理【実技編】	テスト工程について、より効率的な計画を立て、より正確に管理するための実技を身につける講座です。	46,200円	○
	㉝ 上流工程からの品質作りこみ	プロジェクト遅延原因の大半を占める要件定義工程の品質向上策の講座です。	46,200円	○
	㉞ 金融システムに求められる安全対策基準 ★NEW	当局が金融機関に求めるFISC安全対策基準の内容を学びます。	69,300円	○

ご検討のほど  
よろしくお願い致します

品 ヒンシツ大学

その常識、変えてみせる。

**SHIFT**